



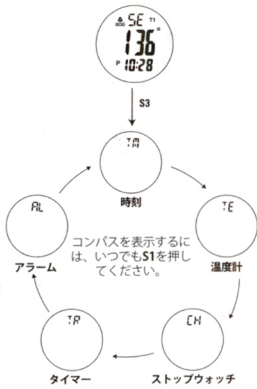
# TrailDrop

## 特徴

- デジタルコンパス
- 時刻/日付
- 2つのタイムゾーン
- 2つのアラーム設定
- Therma-Sensorテクノロジーの温度計
- ストップウォッチ
- タイマー
- バックライト
- ナビゲーションベゼル
- LEDフラッシュライト
- 水準器

日本語

1



英語

2

## 電子コンパス機能の使用法

コンパスをはじめて使う前に、較正を行ってください。

S1を押して、コンパス表示にしてください。表示を正確にするため、水準定用の泡を使って、しっかり水平になるようにしてください。

注意: デジタルコンパス機能は、磁場や電場にかたいへん敏感です。近くに磁石や電気器具があると、方位が正しく測定できません。

較正: コンパスの地磁気検出器を地球の磁場と合わせ、コンパスが正しい方位を指すようにできます。偏差が追加されると、磁石の北方向が調整され、時計回りまたは反時計回り方向に向きが変わり、真北の方向を表示します。偏差角の範囲は、00 Eから99 Eまでと、00 Wから99 Wまでです。世界の主要都市の偏差角の一覧は、次のページにあります。

偏差: 真北と磁北の差の度数(角度)です。

真北: 地軸の北ともいいます。地図の北(北極点)のことです。

磁北: すべての磁針が指す地理的領域のことです。この地点は北極から1300マイル(約2100キロ)南です。(このために較正が必要になります。)

世界の主要都市の偏差角の一覧

3

都市名	偏差角	都市名	偏差角
アンカレッジ	22 E	ニューヨーク	14 W
アトランタ	4 W	オーランド	5 W
ムンバイ(ボンベイ)	1 W	オスロ	2 W
ボストン	16 W	パリ	2 W
カルガリー	18 W	リオデジャネイロ	21 W
シカゴ	5 W	サンフランシスコ	15 E
デンバー	10 E	シアトル	19 E
エルサレム	3 E	上海	5 W
ロンドン	4 W	トロント	11 W
リトルロック	3 E	バンクーバー	20 W
リビングストン(モンタナ州)	14 W	ワシントンDC	10 W
ミュンヘン	1 E	ウォーターベリー(コネチカット州)	14 W

この表にない都市の偏差角は、次を参照してください  
www.ngdc.noaa.gov

日本語

4

## コンパスの較正のしかた

- S1を押してコンパスモードにし、「CAL」と表示されるまでS4を押し続けます。
- 水平なところにコンパスを置き、時計方向に360度、10~15秒で1回転させながら、3回転させます。その後、S4を押して、較正を完了します。
- 数字が00で点滅していますので、現在の場所の偏差度数に変更してください。(調整はS2、選択はS3。)設定が終わったら、S4を押してセットします。
- 別のモードにするには、S3を押してください。

日本語

5

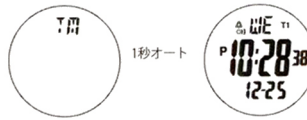
## 時刻モード

時・分・秒・月・日・曜日を表示する通常の時刻モードです。12時間表示と24時間表示の切り替えもできます。また、2つのタイムゾーンを「T1」と「T2」で選択できます。

- 「TM」が表示されるまで、S3を押し続けてください。
- S2を3秒押し続け、「T1」と「T2」を切り替えます。
- 時刻の調整には、S4を3秒押し続けます。数字が点滅し始めたら、S3を押して変更したい場所を選択します。数字が点滅したら、S2を押して、秒・分・時・日・月・曜日・年を調整し、12時間表示と24時間表示を切り替えます。設定が完了したら、S4を押してセットします。

英語

6



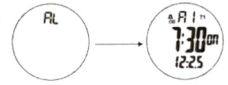
## タイマーモード

タイマーモードでは、上の段にカウントダウンタイムを、下の段に現在の時刻を表示します。

「CS」はカウントダウン停止  
「CR」はカウントダウンのリビート  
「CU」はカウントダウンアップ  
タイマーは、1秒単位で24時間まで計測できます。

## タイマーモードでの操作のしかた

- S3を押して、タイマーモード「TR」にします。
- S4を3秒押し続け、タイマーの時間設定とタイマー機能を開始します。数字が点滅し始めます。
- S3を押して秒・分・時を切り替え、S2を押し、好みの値に数字を調整します。S3を押し、「CS」が点滅しているときにS2を押して、「CR」または「CU」に変更するか、「CS」のままにします。
- S4を押して設定を終了し、その後S2を押してタイマーを開始し、S4を押して停止します。



日本語

9

## アラームモード

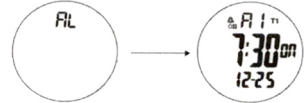
時・分・アラーム設定を表示します。

好みの時・分のアラーム設定を表示します。アラームマークが「ON」位置にあるとき、毎日アラーム音が繰り返されます。「A1」と「A2」の2つのアラームがあります。

- 「AL」が表示されるまで、S3を押し続けます。
- S2を押して、「AL」(チャイム)・「A1」(アラーム音1)・「A2」(アラーム音2)を選択します。
- S2を3秒押し続け、アラームマークとチャイムマークのオン(「ON」表示)またはオフ(「-」表示)を切り替えます。チャイムマークがONのとき、毎時ビープ音が鳴り、ボタンが押されるたびに確認キー音が鳴ります。
- 「A1」または「A2」表示のときに、数字が点滅されるまでS4を3秒押し続け、好みの数字に調整します。
- S4を押して、アラームをセットし、調整モードを終了します。

英語

10



## 温度計モード

F(華氏)とC(摂氏)の切り替えができます。検知された温度に対して±4度の表示温度補正もできます。たとえば、TerraTech/TrailDropが77F(検知温度)と表示していて、別の温度計が74Fと表示している場合、TerraTech/TrailDropを74F(表示温度)と表示するように設定できます。設定後は、表示温度は検知温度より3度低く補正されます。

- S2を3秒押し続けると、FとCの表示が切り替わります。

## 温度補正のしかた

- 「TE」が表示されるまで、S3を押し続けます。
- S4を3秒押し続け、補正を開始します。数字が点滅し始めます。S2を押して調整し、S3を押して選択してください。設定が完了したら、S4を押してセットします。

注: 機器を身につけているときは、体温で温度表示が高くなる場合があります。



日本語

7

## 電池の交換

LCDディスプレイまたはLEDライトが薄暗くなったとき、次のように電池を交換します。

LEDライト: V392 x 3

TerraTech: 2032 x 1

TrailDrop: SR9365W x 2

注: コンパスモードELバックライトとLEDフラッシュライトは、電池のパワーを大きく消費します。

日本語

11

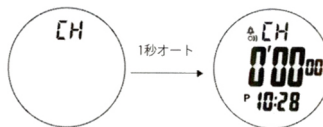
## ストップウォッチモード

ストップウォッチ機能は、1/100秒単位で24時間まで計測できます。

- 「CH」が表示されるまでS3を押し続けてください。
- 開始/スプリット計測にはS2を押し、再びS2を押します。スプリットが選択されると、「SPL」が表示されます。
- ストップウォッチの動きを止めるには、S4を押します。停止したストップウォッチをゼロにリセットするには、S4を押し続けます。

英語

8



日本語

4